

深ボリ!

企業のチカラ

第37回 有限会社

鹿児島測量施工管理

今回は、有限会社鹿児島測量施工管理を「深ボリ!」代表取締役の池田智大さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、平成元年の創業以来、鹿児島を拠点とし、建設



▲池田代表取締役（前列中央）と社員の皆さん



▲UAV 計測の作業風景

当社では平成25年に開始した3次元計測(3D Survey)技術の活用を力を入れています。3次元計測とは、3DレーザースキャナあるいはUAV(※)による上空からの計測により物体や地形を立体的に捉える技術で、データ化し保存することができます。 ※UAV:無人航空機(ドローン)のこと

業界における測量・設計・施工管理に携わっており、九州を中心に全国的に展開しています。現在では、当社の測量調査部門、設計部門、3次元計測部門の3つの柱を軸として多種多様な業務を行っており、3次元関係の分野では日本屈指の技術力を誇ります。

3D Survey

保存したデータにより、建造物の修復や土地開発における完成シミュレーションを行うことができ、これは市指定文化財や川内港久見崎みらいゾーン開発事業にも活用されています。また、大規模な災害などが発生した際には被災状況を迅速かつ正確に把握することも可能です。



▲レーザ計測の作業風景



▲写真のように見えますが、レーザースキャナで計測した点群データです

今後の抱負

この業界の目まぐるしい変化に対応し、お客さまのニーズに合った仕事ができるよう、若い人材の育成や働きやすい職場環境づくりに取り組み「力のみなぎる会社」を目指します。

有限会社鹿児島測量施工管理
宮内町 1847
番地 7
2129
電話 (25) 2129

起業者応援! 今月の起業人 株式会社ドウワキ工業 起業者: 堂脇 裕治さん
このコーナーでは新規開業者情報をお届けしています。
今年1月、パークゴルフ場のある大原野池公園隣の駐車場前にステンレス・鉄・アルミのオーダー加工工場をオープンいたしました。企業、個人のお客さまのニーズに合わせ、今までの経験を生かしたご提案をいたします。当社は、良質・丁寧・安心をモットーにしています。ぜひ私たちにお任せください。まずは、お気軽にご相談ください。
●所在地/川永野町 6506-3 電話 090(9603)5208 0540
●営業時間/8:30 ~ 17:00
●定休日/毎週土・日曜日、祝日、不定休あり
●駐車場/6台
こちらのクーポンもご利用ください。(見積時にご提出ください)

人のとなりに

有村 大治郎さん (22)



「人のとなりに」とは…文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージした新コーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

今回は、故郷を思いながら夢を追い掛ける若者の思いに寄り添います。



▲有村大治郎さん ツイッター



シャチハタデザインコンペファイナリスト作品
▲和柄模様をあしらった5種の朱肉。日本を象徴するようなその印象は、どれもため息が出るほど美しい。

故郷を思いながらもデザイナーの夢を追い上京

もともと地元でデザインの仕事をしたと考えると有村大治郎さん。高校時代に参加した学校説明会で「デザインを本格的に学ぶなら情報量が多い大都会に行くべき」という話を聞いて上京しました。

東京の専門学校に通いながらデザイン活動もし、卒業後の現在は、東京から川を一本挟んだ神奈川県に住み、デザイン事務所に勤務しながら、個人でのデザインの仕事やコンペなどへの作品の応募などに積極的に取り組んでいます。多くの展示会に足を運び、同世代のライバルを含む多くのデザイナーがいる環境で、日々デザインと向き合い、腕を磨いているのです。

器用な両親の影響と薩摩川内市の自然の環境が土台

「自分がものづくりの目向けるきっかけは、絵がうまくて器用な父親と手先が器用でアイデアマンの母親の影響が、かなりあると思います(笑)。そして、小さい頃から図工とか美術も



マカロンのうつつわコンテストで優秀賞を受賞した作品「Airy」

光る才能に垣間見る将来性

有村さんは9月に、菅原工芸硝子(Sghr)が主催するガラスの器のデザインコンテスト「PIERRE HERME PARIS X Sghr」マカロンのおつつわコンテスト」で最優秀賞に次ぐ優秀賞を受賞しました。

両親と故郷への思い

「自分の好きなことをする道に進むことを応援してくれた父母には本当に感謝の気持ちしかありません。そして、デザイナーという自分の能力を生かした職業に就くことができたので、家族ひいては薩摩川内市や鹿児島県のためにような仕事をしたいと思っています。一つの目標として、地元に関わるデザインをしたいという気持ちがあります。自分が頑張る活躍することで、薩摩川内市の名を多くの人に知ってもらえたら。現在は、リモートワークも普及しています。いつか故郷に帰り、場所に関係なく自分の能力を生かすことができればいいな。そんな思いで、日々を過ごしています。」